学校番号	201

令和8年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「文学国語」(大修館書店)						
副教材等	「場面の読み取りから、解答力養成まで　小説読み解き講座＋文学史」(桐原書店)						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

1. 文学作品解釈に必要な語彙、時代背景、文学史などの基礎知識を身につけること。
2. 文章を読解する技術を身につけること。
3. 一年間の学習を通じて、自らの学習の到達段階を振り返り、次の学習へとつなげていくこと。
4. 授業時間外で何をどのように学ぶべきかを意識して学習計画を立て、日々の学習に取り組むこと。

2　学習の到達目標

(1)生涯にわたる社会生活に必要な日本語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を進んで身につけている。	・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養っている。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深めている。	・言葉がもつ価値への認識を深め、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 ・言語文化に対し強い興味関心を持ち、理解を深めるための努力を積み重ねている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	内容の把握 [教材] 『十八歳の選択』 『旅する本』	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]登場人物の描写に着目し、その心情を考えようとしている。 c:想像したり共感したりしながら、自分自身の生き方を見つめようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	提出物 ワークシート
	表現の工夫 [教材] 『山月記』	a:小説の世界観を的確に読み取るための語彙力を身につけている。 b[読]:『山月記』の作品特性を踏まえ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:人間が虎になるという設定の効果について、考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	提出物 ワークシート
2	作品の理解 [教材] 『檸檬』 『巨人の接待』	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語彙を豊かにしている。 b[書]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈したうえで表現している。 c:登場人物の心情と行動の関連性について、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	提出物 ワークシート
	解釈の多様性 [教材] 『赤い繭』 『掟の門』	a:表現の特徴をとらえ、その効果や意味を考えている。 b[書]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:話し合いを通して、寓意による表現方法の批評性について理解を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	提出物 ワークシート
3	思索の深化 [教材] 『こころ』	a:人間、社会などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:作品の主題を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	提出物 ワークシート

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと … ( )時間

・書くこと … (15)時間

・読むこと … (55)時間